



わたしの町に日本語教室??

ここ北九州にはたくさんの外国人が暮らしています。中には日本語が分からない、知合いが全くいない・・・等の問題から日常生活・仕事に支障をきたし、色んなストレスや問題を一人で抱えている人も。

さて、みなさんが一人で外国で暮らさなければならなくなったとします。家族も友達もいない！言葉もわからない！そんな時、同じ様な境遇の人が集まり、その国の言葉を学べる場所があったら・・・？

そんな「居場所」をみなさんで作ってみませんか？

ということで日本語通信第1号、お楽しみください♪

☆☆「みなさんのギモンに答えます！」コーナー☆☆

Q まずはずバリ、日本語指導員って何ですか??

日本語指導員とは日本語教室を運営し、そこに集まる外国人学習者に無償で日本語を教える人たちです。一言で外国人といっても国籍・年齢・職業は様々。その人たちが日本で日本語を使って生活していけるように学習支援を行います。

Q 外国語ができないと教えられない?

そんなことはありません！「英語が苦手」という人でも全く問題はありませんし、むしろ学生時代苦労して(嫌々?)外国語を勉強した方こそ、まさに今日本語を勉強している外国人の大変さが分かる、というものです。ですから、外国語ができることよりも外国語を学んだ経験があることの方が大切なことです。また、外国人と接する事でその人の母国語を勉強してみる、など外国の言葉や文化に興味を持つことも指導員として大切なことだと思います。

にほんごコラム

新米日本語教師として働き始めた頃の話です。「先生、さよ～なら～」と言って帰って行く学生に、「はい、さようなら。気をつけて帰ってね～」と言っていた私。ある日、教室を出る学生に私の方から「さようなら」と声をかけました。その学生は「はい、さようなら～」と。なんだか上から目線・・・でももちろん悪気はありません。私が悪いんです(涙)。授業中の日本語には気をつけてるつもりでしたが、普段の会話にも学生は耳を傾けている、そんな当然のことに気づかされた出来事でした。自分のコトバを見つめなおすきっかけをくれた学生に感謝！

28歳・女性



今月のおすすめ図書

～これから日本語を教えるアナタに贈る・・・
現役日本語指導員あやそのん、オススメの一冊～

『日本語 おしゃべりのたね』 西口光一[監修] スリーエーネットワーク

この本には身近な話題がたくさん載っており、実際におしゃべりをしながらお互いの事を話したり、分からない表現や言葉を説明したりしています。話の発展につながるヒント・ポイントも多く、活動の手引きも記してあるので会話をスムーズに進めることができます。決まった会話を繰り返し練習したり文法を覚えたりする形ではありませんがく日本語文法への入り口く(ユニットに出てくる文型)が後半にまとめてあり、文法をきちんと勉強したいという方にも対応できるように構成されているようです。このテキストを通じて学んだ表現を日常生活で“自然に”使えるようになり、日本の生活に馴染んでほしいと思っています。

日本語指導員突撃レポート ～今、ボランティアで日本語を教えている人にお話を聞いてみました。～

ニックネーム：そんちゃん(女・学生) 日本語指導員歴：6ヶ月

○苦労したこと：学生であり、また日本語を教えた経験がないのに何が出来るのだろうと最初は考えました。学習者のレベル、ニーズにあったものや興味のあるものを聞き出して、教材を持っていったりしました。

○楽しいこと・うれしいこと：文法や漢字の成り立ち、日本の生活など私も知らなかった新しい発見をしたときは楽しいです。活動を始めて私自身日本語や日本についてもっと知りたいという興味が湧いてきました。あと、学習者の方から「最近日本語を勉強するのが楽しくなってきた」と言われたときは嬉しかったです。

○気をつけていること：せっかく来てくれている方々の時間を無駄にしないように、私も準備をして役に立てよう一生懸命考えています。学習者のレベルによってわかりやすい日本語を使うようにしています。それと、学習者の方が一人で行えることはやらないようにしています。

○今後の目標：個人的には学習者の方が自分らしく日本で生活できるように、支援していきたいです。全体としては、学生である私たちと学習者の方たちが一緒に学んでいけるような活動になればいいと思います。